



所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画

2020年6月
所沢市

「所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画」の策定にあたって

所沢市は、都心から30km圏内にあり、利便性の高い都市であると同時に、都市のにぎわいから一歩足を延ばすと、狭山丘陵の美しいみどりと湧水が作り出す水辺、武蔵野の面影を残す林や農地が広がっています。

都市のにぎわいとみどりの豊かさ、その双方があること、それが所沢市のおおきな魅力なのです。



本計画は、その魅力を感じられるようにするため、主要な河川である砂川堀・東川・柳瀬川と、ところざわサクラタウン・中心市街地・狭山丘陵をつなぎ、散策路を設定し、みどりの回廊をつくるものです。

そして、人が歩き、人が憩い、人と楽しむ、・・・・出逢いを大事にした「人を中心にしたまちづくり」の実現を目指すものです。

歩くことを大切にしたまち。スローライフでゆったりと子育てを楽しみ、働き、住まうまち。人口減少と超高齢社会に向かうからこそ、30年先を見据えた持続可能なまちのモデルになればと思います。

これからも「大震災と原発事故、だれもが感じたあの思い」を決して忘れず、人と人との絆、自然との調和を軸に施策を展開してまいります。そうやって、善きふるさとを未来の子どもたちに創り、伝えてまいります。

結びに本計画の策定にあたり、「所沢しみどりの審議会」の委員のみなさまをはじめ、さまざまな機会を通じてご協力いただきました市民、関係団体のみなさまに心から感謝とお礼を申し上げます。

令和2年6月

所沢市長 藤本 正人

目次

1 はじめに

- (1) 所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画策定にあたって…………… 1
- (2) 計画の目的…………… 3
- (3) 計画の期間…………… 4
- (4) 計画の位置づけ…………… 4
- (5) 計画のフロー…………… 5

2 整備構想

- (1) 将来イメージ…………… 7
 - 砂川堀…………… 10
 - 東川…………… 12
 - 柳瀬川…………… 14
 - 狭山丘陵…………… 16
 - 三富新田・くぬぎ山周辺…………… 18
 - 狭山湖・西武球場前駅周辺…………… 20
 - 中心市街地…………… 22
 - 所沢航空記念公園…………… 24
 - ところざわサクラタウン周辺…………… 26
- (2) 基本方針と実施方策…………… 29
 - 基本方針1 水とみどりを守る…………… 32
 - 基本方針2 にぎわいを生み出す…………… 35
 - 基本方針3 みどりとにぎわいをつなぐ…………… 39
 - 基本方針4 みどりを歩く・楽しむ…………… 42
 - 基本方針5 魅力を発信する…………… 47

3 整備計画

- (1) 整備ルートの設定…………… 49
- (2) 整備計画…………… 51
 - 整備カルテ…………… 51
 - 整備計画図…………… 59

4 計画の実現に向けて

- (1) 多様な主体による計画の推進…………… 67
- (2) 庁内の推進体制…………… 68
- (3) 計画の進行管理…………… 68
- (4) 計画の更なる展開に向けて…………… 69

- 資料編…………… 73



1 はじめに

1 はじめに

(1) 所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画策定にあたって



狭山丘陵から市街地を望む



©KENGO KUMA & ASSOCIATES
©KAJIMA CORPORATION

ところざわサクラタウン
イメージ図



春の狭山丘陵（三ヶ島湿地）



樹林地の維持管理活動

都心から 30km 圏内、人口 34 万人が暮らす所沢市は、古くから交通の要衝、物資の集積地として繁栄し、現在も様々な都市機能を有するとともに、広域交通網が発達する利便性の高い都市です。

現在、所沢駅周辺では、所沢市の表玄関にふさわしい、にぎわいと魅力あふれるまちづくりが進行しています。また、市域の東部では、所沢市と株式会社 KADOKAWA との共同プロジェクトである COOL JAPAN FOREST 構想により、新たなまちのにぎわいが生まれようとしています。

一方で、都市のにぎわいから一歩足を延ばすと、狭山丘陵の美しいみどりと湧水が作り出す水辺、武蔵野の面影を残す林や農地が広がっています。

特に狭山湖を中心とした狭山丘陵周辺は、自然と人の関わりを通じて雑木林や谷戸、湿地といった様々な環境が形成され、狭山丘陵を源とする柳瀬川、東川、砂川堀などの水辺のみどりに多様な生きものたちが生息しています。

また、通称「くぬぎ山」と呼ばれる平地の雑木林やそれに続く三富新田などの農村地域には、江戸時代の開拓地割跡がそのまま残されているほか、茶畑の広がる風景など、所沢の原風景ともいえるみどりが色濃く残っています。

恵まれた立地条件から都市化の圧力の高い所沢市では、みどりを守りたい、との思いから、市民による積極的な保全活動が行われてきました。また、多くの行政計画で、都市とみどりをつなぐまちづくりを展開してきました。

ここにあるみどりは、長い歴史の中で残ってきたみどりではなく、みんなで大切に残してきたみどりであり、所沢市の大きな魅力です。

所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画（以下「本計画」という。）の策定にあたり、多くの方に改めて、「所沢市を散策するときにおすすめの場所はどちらですか？」そんな問いかけをしてきました。その答えには、狭山丘陵の豊かなみどりや生きものの豊かさ、狭山湖の水辺の美しさ、東川の桜並木や砂川堀沿いに残る河畔林、広がる茶畑や野菜の畑ののどかさがありました。四季折々の花が咲き、多くの人が思い思いに過ごす所沢航空記念公園や、家族で遊べる狭山湖の周辺、ふだんの暮らしの中で通るケヤキの並木道や、子どもたちが通う学校をあげる人もいました。

利便性の高い都市の暮らしの中で、美しい水辺やみどりに心を休ませる、

みどりの中にも都市のにぎわいの中にも楽しみがある、

都市のにぎわいとみどりの豊かさ、その双方があること、それが、所沢市の大きな魅力なのです。

本計画では、これまでの都市とみどりをつなぐまちづくりを具体的に大きく一歩進めるため、美しいみどりと水辺の散策路で、都市のにぎわいや人々の暮らしを丁寧につなぎ、「水とみどりがつくるネットワーク」を構築します。

また、市民をはじめ、来訪者、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催なども契機として、海外からも含めた多くの方に、「水とみどりがつくるネットワーク」の魅力を発信します。



市役所ロビーアンケート調査風景



市民による散策おすすめスポット



所沢航空記念公園で楽しむ人々



東川の桜並木でお花見



みどりのふれあいウォーク

(2) 計画の目的

本計画は、所沢市にある豊かな水とみどりを、未来の子どもたちに引き継ぐとともに、まちのにぎわいや魅力とつなぎ、その豊かな恵みを享受できる「水とみどりがつくるネットワーク」をつくりあげる計画です。

所沢市の魅力となる水とみどりを、COOL JAPAN FOREST構想や中心市街地の活性化など、にぎわいある都市づくりと連携させていきます。そして計画を推進することにより、人々が地域のみどり・歴史・文化に触れ、感じることで、新たな人の流れが生まれ、その相乗効果として、地域産業の活性化や文化の広域的な交流、所沢ブランド向上等の原動力となることを目的とします。

■貴重なみどりを未来につなげる

「水とみどりがつくるネットワーク」を体感できる、自然と調和した歩きやすい散策路を整備します。多くの方が実際に歩き、自然への親しみや理解を深めることにより、貴重なみどりをみんなで守り、育てていきます。

■所沢ブランドの向上

都心に近く、駅から15分程度で、武蔵野の面影、里山の景観が残る所沢市のみどりや歴史・文化を多くの人に見て感じて味わっていただくことで、所沢ブランドの向上を目指します。

■まちの活性化とにぎわいの創出

貴重な水とみどりをまちの魅力とつなげていくことにより、新たな人の流れや地域産業の活性化、文化の広域的な交流を目指します。

(3) 計画の期間

本計画の計画期間は、令和10年度までの10年間とします。

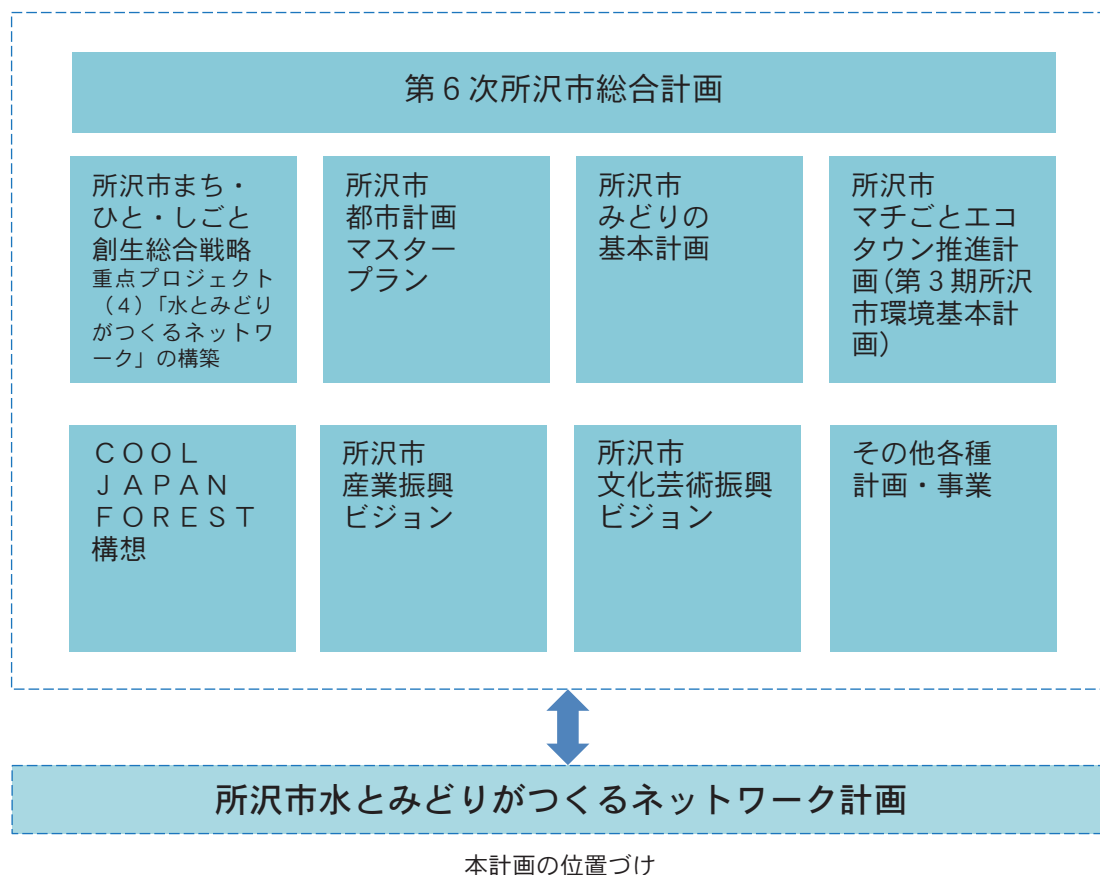
なお、計画期間における前半の5年間において、まず、水とみどりの魅力と都市のにぎわいをつなぐための整備に向けて、第一歩を踏み出すものとし、後半の5年間において、それらの更なる整備とみどりを支える仕組みの充実を図っていくことを目指します。

(4) 計画の位置づけ

本計画は「第6次所沢市総合計画」（平成31年3月策定）を上位計画とし、「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成28年3月策定）、「所沢市都市計画マスタープラン」（令和2年3月策定）及び「所沢しみどりの基本計画」（平成31年3月策定）等に示す「水とみどりがつくるネットワーク」を具体的に示す計画として策定します。

なお、「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」には、重点プロジェクトの具体的な取り組みの1つとして、本計画の策定が位置づけられています。

さらに、所沢市マチごとエコタウン推進計画（第3期所沢市環境基本計画）やCOOL JAPAN FOREST構想、所沢市産業振興ビジョン、所沢市文化芸術振興ビジョンなど、様々な計画と連携しながら、「水とみどりがつくるネットワーク」によるみどりの保全やふれあい、人の流れの創出を目指します。



(5) 計画のフロー

上位計画、市民意向調査等からの方向づけをもとに、計画のフローを整理します。

■上位関連計画からの方向づけ(第6次所沢市総合計画をはじめ様々な計画に位置づけ)

第6次所沢市総合計画：多くの人たちが豊かなみどりの恵みを享受できるよう広域的に河川や緑地でつながる「水とみどりがつくるネットワーク」の構築を進めます。

所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略：この貴重な資源を未来の子もたちに引き継ぎ、訪れる全ての人が本市の豊かなみどりの恵みを享受できるよう、「水とみどりがつくるネットワーク」を構築し、エコツーリズムや武蔵野のみどりを親しむ体験などを通じてその魅力を発信していきます。

所沢市都市計画マスタープラン：河川や多様なみどりを相互につなぎ、水とみどりの豊かさが感じられる散策路を整備し、「水とみどりがつくるネットワーク」の構築をめざします。
新たな人の流れを生み出し、みどりや文化などとふれあう機会の創出に努めます。

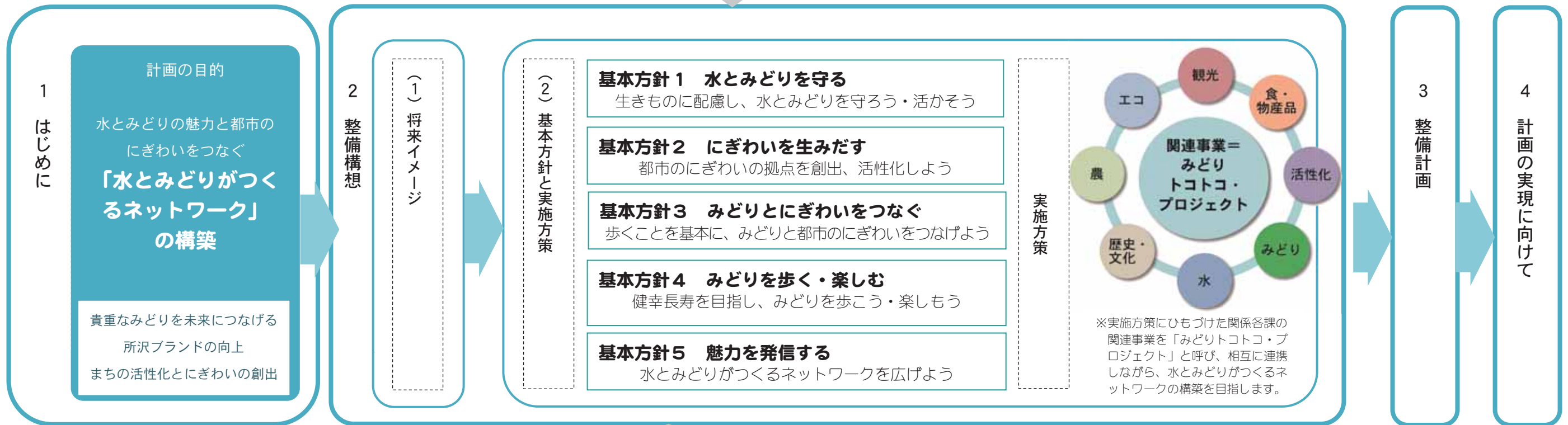
所沢市みどりの基本計画：散策路整備を推進し、みどり豊かで歴史ある里山を残し、市民とともに守り、狭山湖周辺をはじめとする地域の魅力向上を目指します。散策路等整備の際は生物多様性に配慮し、モデルとなる整備を図ります。

所沢市まちごとエコタウン推進計画(第3期所沢市環境基本計画)：広域的に河川や緑地でつながる「水とみどりがつくるネットワーク」の構築を進め、みどりのふれあいの場を創出します。

COOL JAPAN FOREST 構想：「ところざわサクラタウン」から広がる「みどり・文化・産業が調和したまち」の姿を、「水とみどりがつくるネットワーク」を通じて、所沢市全体に広がります。これにより所沢市が「住み続けたい・再び訪れたいまち」に育ち、その魅力を高めることで、さらに新たな人の流れを作り所沢市全体の元気につなげていきます。

※上記の各文章は計画の一部を抜粋

■計画のフロー



■市民意向調査からの方向づけ(「散策におすすめの場所」をキーワードに、ネットワーク形成に重要となる市の魅力となる場等について意見収集)

■市民意識調査結果 (H30)

- 海外からの観光客に伝えたい所沢の魅力
- ◎所沢航空記念公園・航空発祥記念館・彩翔亭
- ◎緑豊かな狭山丘陵・狭山湖の自然
- ◎狭山茶

■メルマガアンケート・市役所ロビーアンケート調査結果

- ◎歩きたいルート：水とみどりの豊かさを感じられるルート
美しい景色を楽しめるルート
- ◎おすすめの場所：所沢航空記念公園・狭山丘陵
- ◎市民としてやってみたいこと：市民の目線による新たな名所の発掘
などの情報提供・発信に取り組みたい

■関係団体ヒアリング結果

- ◎みどりや水辺で保全活動や美化活動に取り組んでいる
- ◎人々が散策する際には、活動場所周辺の自然・歴史文化、人や行事等の魅力を伝えたい

■所沢市みどりの審議会からの意見

- ・生きものたちの生息・生育環境に配慮してほしい
- ・計画の前提として保全が大事ということを書いた上で検討することが望ましい
- ・所沢ブランドのアピール方法の確立も必要

